

市民の声を聞かずに(仮称)厚生産業会館事業着手、進めぬ入札制度改革 日本共産党議員団、一般会計決算など7議案に反対

9月議会の最終日、私は日本共産党議員団を代表して昨年度の一般会計決算認定など7議案について反対討論を行いました。

このうち昨年度の一般会計決算認定議案の討論では、住宅リフォーム助成制度の継続や中山間地対策の強化などの取組について一定の評価をした上で、黙過できない問題点として、5点をあげました。

1点目は高田区地域協議会の答申を無視し、十分な市民合意がえられないまま(仮称)厚生産業会館の建設事業を押し進めてきたことです。

2点目は、市長部局において談合を許さず、入札制度改革をすすめる本格的な動きが始まっていないことです。昨年12月議会で私はガス水道局発注の入札における談合疑惑を提起しました。以来、ガス水においては改革が進んでいま

すが、市長部局は本格的動きが見えませんが、これは第5次行革を待たずともなく、ただちに開始すべきことだと強調しました。

3点目は総合事務所の産業建設グループの集約を試行する体制をとる、すすめたことです。市民サービスを下ろさせ、集約された区の自治の発展を阻害するものとして容認できないとのべました。

4点目は、小中学校における給食の民営化路線がひきつづき拡大強化されたことです。学校給食について私たちは、「教育の一環であり、調理も含めて一連の教育活動の中に位置づけられるべきもの」と主張してきました。

5点目は公の施設の再配置の具体的な実施の一つとして取り組まれた高齢者の福祉施設などの廃止ないしは民間譲渡です。19ものデイサービスセンターを行政から切り離し、民間で受け手がいない施設を廃止したやり方は、これまで行政が果たしてきた高齢者福祉にお

ける責任を放棄するものです。私は、市民にとっての抛り所を奪うものとのべました。

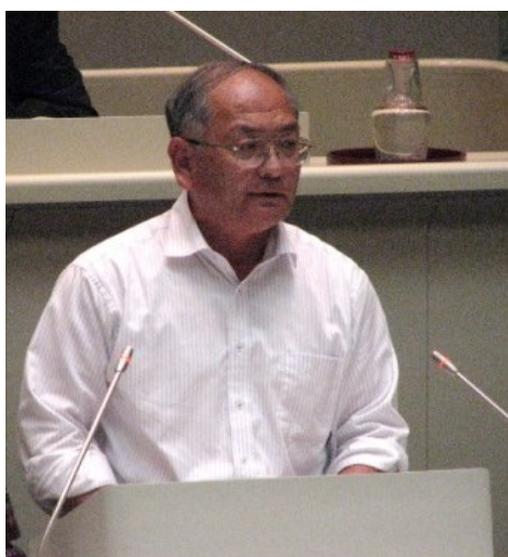
討論の後に行われた採決では、昨年度の一般会計決算など6議案で、日本共産党議員団と無所属の石平議員が反対しました。昨年度の後期高齢者医療特別会計決算は日本共産党議員団のみの反対でした。

日本共産党議員団が反対した議案は、次の通りです。
○平成25年度一般会計決算



【キバナアキギリ】シソ科の多年草。漢字で「黄花秋桐」と書きます。これも桑取地区土口で見つけました。花期は8月から10月。サルビアの花にそっくりで、「日本のサルビア」とも呼ばれています。花言葉は「華やかな青春」。

- 平成25年度国民健康保険特別会計決算
- 平成25年度診療所特別会計決算
- 平成25年度下水道事業特別会計決算
- 平成25年度農業集落排水事業特別会計決算
- 平成25年度介護保険特別会計決算
- 平成25年度後期高齢者医療特別会計決算



総務大臣から感謝状授与されます

今週の17日(金)、私は東京へ行き、総務大臣から感謝状をいただくことになりました。これは地方議員を35年以上勤めたことにより、地方自治に貢献したとしていただくものです。

私が初めて議員になったのは、1978年(昭和53)11月です。当時、28歳で、新潟県内では最年少議員でした。以来、吉川町議を7期、上越市議を3期勤めさせてもらいました。この間、多くの人たちから応援してもらい、励ましていただきました。心から感謝申し上げます。幸い、心身ともに健康ですので、これからもがんばります。よろしくお願ひします。

『背中かき』の表紙写真も展示

先日、「写友かたくり」写真展を観に行ってきました。時間がとれず、ゆっくりはできませんでしたが、紅葉や山、野の花など素敵な作品がいっぱいありました。私のポスター写真を撮ってくださった方の写真もありました。写真は私の書いた、随想集『背中かき』(北越出版)の表紙写真と私です。たくさん作品を観ながら、改めてこのフキノトウの写真は見事だと思いました。写真は平田一幸



はしづめ法一の
活動レポート

No.1678 2014.10.12
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628 吉川有線 4867
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第三二六回

くいっからし

一〇月になったばかりの日、半月ぶりに大島区へ行ってきました。朝方は雲が出ていて、どうなるかと思っただけですが、午前九時をまわった頃には青空がどんどん広がっていました。雲も浮かんでいきます。青空と雲は山があると特別美しく感じられます。

板山から嫁いだ上岡のお母さん、テエ子さんの家に車を入れようとした時、私の姿に気付いた正司さんが、大きな声で「あら、橋爪さん」と声をかけてくれました。ここにこしながらの声かけにうれしくなりました。

テエ子さん宅にお邪魔したのはほぼ一年ぶりです。玄関で「橋爪です」と声をかけたらすぐにテエ子さんが顔を出し、「あら、まあ」と言ってくれました。つづいて孫さん夫婦らしい若い二人とひ孫さんらしい姿も。

居間に入ることを勧められ、座ってしばらくテレビを観ていましたが、テエ子さんは台所に行ったきり、なかなか戻ってきません。五分、いやもつと経っていたかも知れません。どうしたんだらうと思いはじめたころ、テエ子さんはおいしそうなものを運んできてくれました。私に食べてもらいたいと準備してくれました。

おいしそうなものというのは、イモガラ酢のものとキュウリ、なますカボチャ（「そうめんカボチャ」とも言います）の漬物、さらにほうれん草の煮物です。

イモガラは鮮やかな色をしていましたし、なますカボチャも長く切ってあって、うまそうだったのでカメラを向けました。すると、テエ子さんは、「まあ、くいっからしななか撮らんでくんない」と言います。「くいっからし」ってなんだろうと思いましたが、どうやら「食べ残し」のことを指しているようでした。イモガラだけはちよつと手をつけた感じはありましたが、いわゆる「食べ残し」といった感じではありませんでした。「どこかへ出すわけじゃないから」と言って撮らせてもらいました。

食べてみると、この「くいっからし」は本当においしいものでした。イモガラもなますカボチャも私の好物です。なますカボチャは噛むといい音がして、独特の食感があります。テエ子さんの話では、「ぬき粕」に漬けたものだということでした。粕の味がうまくしみ込んでいましたね。イモガラも酢がうまく効いていました。

私がうまそうに食べていたのが気に入ったのか、テエ子さんは、今度はすぐった大根を細かく刻んで、何かと和えたもの、それとなますカボチャとキュウリの一夜漬けも台所から出してきてくれました。

「おまんたばちや、元氣かね」テエ子さんがそう言うてからは、同級会のことや昔話で賑やかにになりました。テエ子さんは八一歳、母と従弟のイナバ（屋号）の克行さんとも同級生だと言います。旭の学校で一緒だったのでしょうか。

私が初めて聞いた話もありました。テエ子さんの実家、板山の合沢西（屋号）へ私の母が泊まりに行ったときの話です。当時は「ひりょう」（ちよつとした）「おみやげ」、プレゼントのことを言う方言）と言えはガムだったと言いますが、そのガムをめぐって切ない思い出があるというのです。母がきれいな着物を着ていた時に、その着物のどこかにテエ子さんがガムをくっつけてしまい大騒ぎしたそうです。今度、母に訊いてみますやありません。

この日、テエ子さんから出してもらった「くいっからし」はけっこう食べてしまいました。でも、残したのもいくつもあります。なかでもなますカボチャがたくさん残りました。おいしかっただけにちよつともらつてくれればよかったなあ。

新水族博物館はグラウンドをやめ、第1駐車場に建設へ

9月26日、注目の新水族博物館の審議が総務常任委員会で行われました。やはり上越市新水族博物館の建設場所は県立直江津中等教育学校の野球グラウンドをやめることになりました。新たに建設場所として市が決

めたのはすぐ東隣の第1駐車場とその周辺です。

この日は総務常任委員会の所管事務調査で施設本体を含めた施設の配置が説明されましたが、市は今回の変更を「大きな変更」としては認めず、これまで最適としてきた中等教育学校グラウンドをどんな理由で、いつ断念したかを明確にしませんでした。

グラウンド敷地については、これまで所有者や利用者からの理解を得ているとのことでした。

たしかに現在のグラウンドに建てる場合、地盤改良が必要です。また、グラウンドを移転した場合にその周辺の住宅地に砂ぼこりが立つかもしれないと心配する声などあり

ましたが、本当にそれらだけだったのでしょうか。疑問を持ったのは私だけでないと思います。何人もの委員が、「施設本体工事は市の所有地で行うことが好ましい」などと説明したことに對して、「物事を決めて、決めたことを前提にして理屈をつけている」などと批判したのは当然のことです。もっとストレートに、ありのままに説明すべきだったと思います。なお、施設本体を第1駐車場とその周辺にしたのは月曜日（22日）だったといひます。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	10月1日(火)	10月8日(水)
上越南消防署	0.036	0.036
上越北消防署	0.057	0.053
新井消防署	0.043	0.050
頸南消防署	0.050	0.043
頸北消防署	0.043	0.047
東頸消防署	0.050	0.056
高士分遣所	0.040	0.057
名立分遣所	0.056	0.046

